

第11次総合計画におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付けについて

1 重点プロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）

(1) 目的

将来都市像を実現するためには、将来にわたって活力あるまちであり続ける必要があることから、市民が厚木に愛着と誇りを持てるとともに、全国・全世界から憧れを抱かれる魅力あるまちづくりを進めるため、重点プロジェクトを位置付けます。

(2) 位置付け

重点プロジェクトは、将来の目標人口を含む将来都市像の実現を図るため、重点的に取り組む施策を位置付け、分野横断的に推進することから、本市における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とするものです。

(3) 構成

重点プロジェクトには、まちづくりの新たな局面への対応を図るため、3つの戦略を定め、戦略ごとに施策や取組を位置付けます。

また、各戦略には達成度合いを測る数値目標を設定するとともに、基本目標の進捗を測る重要業績評価指標（KPI）を設定し、総合計画と一体的に効果検証を行っていきます。

(4) 3つの戦略

将来にわたって魅力あるまちであり続けるためには、人・技術・自然がつながり、まちに活気があふれ、誰もが未来に希望を持ち、本市に住む全ての人が幸せを実感できるまちづくりが必要だと考えます。

将来都市像の実現に向けては、施策を戦略的に進める必要があり、「魅力」「幸せ」「発展」をキーワードとする3つの戦略を掲げ、分野横断的に取り組む重点プロジェクトを位置付けます。